

『ホリスティック教育ライブラリー』 総目次

日本ホリスティック教育協会／吉田敦彦・今井重孝編（2001）
『いのちに根ざす日本のシュタイナー教育』せせらぎ出版

（目次）

序 日本の学校とシュタイナー教育を結ぶ （吉田 敦彦）

第Ⅰ部 学校現場にシュタイナー教育をいかす

シュタイナー教育を学校現場に （内海 真理子）

シュタイナークラスをつくる （小野 精一）

公立小学校の中で （山浦 恵津子）

公立中学校で —『銅鏡』の数楽体験— （竹村 景生）

第Ⅱ部 日本のシュタイナー教育実践に学ぶ

東京シュタイナーシュレーの授業実践から （秦 理絵子）

土曜クラスから全日制学校への歩みのなかで—小さな力と大きな勇気から育ったもの—
（津吉 靖）

ヴァルドルフ教育に基づく授業を創り上げる（不二 陽子）

シュタイナー学校の理科教育 （森 章吾）

[essay] 学ぶ喜びを、子どもたちとともに... （大村 祐子）

第Ⅲ部 シュタイナー教育と日本の教育現実

シュタイナー教育の日本的展開 （西川 隆範）

日本の子どもと言語の教育力 （広瀬 俊雄）

総合的学習とエポック授業 （吉田 武男）

シュタイナー教育の本質とシュタイナー学校の卒業生たち （西平 直）

[column] フォルムを聴く フォルムを生きる—「結び」を例として— （石川 恒夫）

第Ⅳ部 ホリスティックな観点とシュタイナー教育

ホリスティックな観点からシュタイナー教育を見る （今井 重孝）

芸術の感覚を教育に —シュタイナーの教育芸術— （金田 卓也）

ホリスティックな「治療教育」とカウンセリング—キャンプヒル共同体の実践に学ぶ—
（鶴田 一郎）

教育者のホリスティックな自己成長 —人智学の成人教育から— （中川 吉晴）

結 シュタイナーに学ぶホリスティックな教育 （吉田 敦彦）

《付録資料》 シュタイナー学校のカリキュラム

日本ホリスティック教育協会／吉田敦彦・平野慶次編（2002）
『ホリスティックな気づきと学び 45人のつむぐ物語』せせらぎ出版

（目次）

序 気がつけば、ホリスティック ―違いが生みだすつながり― （吉田 敦彦）

I 幼子を通して つながるいのち 《保育園・幼稚園》

いのちのつながりの中で生きる喜びを子ども達に ―幼稚園の庭に森が誕生した時―
（嘉成 頼子）

伝え合い、喜び合う ―幼子らと心響かせて― （田口 まり）

仏教・漢方・シュタイナーに学ぶ東江幼稚園 （浅井 あきよ）

II 枠を超える 総合へのまなざし 《小学校》

葛藤からの学び ―人権教育とホリスティック教育の接点― （松下 一世）

「学ぶ」ことは「喜び」である

―知と情意、そして、スピリチュアルな次元がつながる全存在的な学び―
（刀根 良典）

イメージに注意して、表現運動の授業を変える （脇野 哲郎）

子どもと地域をつなぐ （川崎 正男）

教室でただ待ちながら… ―ホリスティックとの出会い― （西田 千寿子）

ホリスティックに求めるもの、それは「つながり感覚」への気づき （平澤 健一）

III 開かれた世界と 出会う学び 《中学校》

「学校の森」づくり （佐川 通）

数えることから見えてくる世界といのちの想像力 （竹村 景生）

ひかりとかげとその狭間より （成田 喜一郎）

私の中のホリスティック教育 ―覚え書き― （渡辺 昭）

IV 人生の問いに 向き合っ 《高校》

自己表現、自己のわかちあい、そこから見えてくるもの （竜門 佳弘）

思春期の危機 ―ひとつの言葉が人生を変える― （北西 敏男）

今、この瞬間を生きる ―筋ジストロフィーの子ども達から学んだこと― （加賀 京子）

ホリスティックな「気づき」とカウンセリング

―自殺未遂の男子高校生とのケースから― （鶴田 一郎）

私の教員生活とホリスティック教育との出会い―子どもの活躍して輝くときを求めて―
（奥村 知亜子）

V 身体から知を 編みなおす 《大学》

大学体育におけるホリスティックな授業づくりの探求 （廣兼 志保・高尾 明子）

看護教育とホリスティック ―まるごとの存在のうけとめ― （掘 喜久子）

新しい時代の大学教養体育への挑戦 (高橋 一榮)

〈いのち〉が響き合うホリスティックな成長の場 ―臨床看護実習― (守屋 治代)

VI 日々の暮らしの かかわりのなかで 《家庭》

十四の瞳に囲まれて (平野 慶次)

ホリスティックな母の教え (長尾 操)

生き方としてのファシリテーター ―「ホリスティック」を母に学んで― (金香百合)

太陽は星のお父さん、月は星のお母さん ―障害がある娘との十二年間― (唐木 邦子)

VII 学ぶことは 変わりつづけること 《自分史》

病気といのちのつながり (長尾 文雄)

橋を架ける仕事 ―ごく私的な物語― (足立 正治)

学生時代にホリスティック教育と出会って (高橋 仁)

「心の教育」を超えるための視点に (吉田 武男)

「出会い」と出会いなおして (児玉 真由美)

VIII いのちの声に 耳をすまして 《もうひとつの学びの場》

森に囲まれた小さな学校 ―野並子どもの村からの報告― (加藤 くに子)

塾の窓から ―求め続けたもの― (河原 博)

ホリスティック・ヘルスのワークショップから (岩崎 正春)

意志の力と生きる力 ―ラミ中学校の終わりのない試行錯誤― (桐野 修次)

森の中の学びの場―リシヴァリー・スクール― (金田 卓也)

IX つながりの生み出すつながり 《社会教育》

心と心をつなぐ活動を実践する素敵な人たち (堀 昌子)

人と自然を愛して三〇年 (水野 隆夫)

檜の森からおしえてもらったこと (川瀬 弓子)

森と暮らしをつなぐ環境教育プログラム―モノづくりをキーワードにして―

(山田 俊行)

X かたちに 表現するいのち 《芸術表現》

ホリスティック・ミュージックをめざして (八木 倫明)

ティー・セラピーとしての茶道

―“出会い”の物語の臨床教育学：ウインド・クロッシング (winged-crossing) を求めて―

(黒川 五郎)

生命が奏でる歌 ―詩二編― (緒方 順一)

インド舞踊の師に学んで (湖月 美和)

あとがき (吉田 敦彦・平野 慶次)

日本ホリスティック教育協会／中川吉晴・金田卓也編（2003）
『ホリスティック教育ガイドブック』せせらぎ出版

（目次）

はじめに——編集者序（中川 吉晴・金田 卓也）
ホリスティックに生きる——『ホリスティック教育ガイドブック』発刊によせて
（伊藤 隆二）

I 部 ホリスティック教育の展望

1 世界に広がるホリスティック教育

世界に広がるホリスティック教育（吉田 敦彦）
西洋教育史におけるホリスティック教育の潮流（今井 重孝）
国際社会における日本のホリスティック教育の発信（黒田 正典）

2 私の考えるホリスティック教育

少しずつ、よりホリスティックな方へ（吉田 敦彦）
ホリスティックなものの見方とはどういうことか—見えるものを見えなくする仕掛け—
（西平 直）
わかちあいの教育—ホリスティックな教育の原理を大学の教育原理の教科書に採用—
（岩間 浩）

システム論とホリスティック教育（今井 重孝）
ホリスティック教育における人間観—伊藤隆二教授の見解—（鶴田 一郎）
ホリスティックな心の教育—“いじめ”をめぐる—（手塚 郁恵）
ジェンダー主流化とホリスティック教育（金香百合）
全人教育の提唱者・実践者 小原國芳先生（黒田 正典）
「いのち」の「つながり」を活かす学校の経営
—ホリスティックな教育実践のステップ・アップ—（山之内 義一郎）
「いのち」の「つながり」を活かす「学校の森」づくり（佐川 通）
ホリスティック・カリキュラム論序説（成田 喜一郎）
ホリスティックな教育とインドの叡智（金田 卓也）
東洋哲学的ホリスティック教育論の試み（中川 吉晴）

3 ホリスティック教育のパイオニアたち

ジョン・ミラー（中川 吉晴）
ルドルフ・シュタイナー（今井 重孝）
マリア・モンテッソーリ—私の祖国は、太陽の周りを回り、地球と呼ばれる星です—
（江島 正子）
タゴール、オーロピンド（金田 卓也）
クリシュナムルティ（金田 卓也）
オルダス・ハクスレー（中川 吉晴）
ロベルト・アサジオリ（平松 園枝）

Ⅱ部 ホリスティック教育のつながり

1 自然とのつながり

環境教育 (高橋 仁)

自然体験学習 (小林 毅)

エコリテラシー (坂田 加奈子)

ディープ・エコロジー (井上 有一)

先住民教育 (松木 正)

2 人とのつながり

グローバル教育 (浅野 誠)

ホリスティックな人権教育 (松下 一世)

対立解決法 (西山 徳子)

スクールソーシャルワーク (吉田 武男)

地域づくり (清水 義晴)

3 学びとのつながり

体験学習—人間関係の体験学習を中心として— (中村 和彦)

ワークショップ (中野 民夫)

一般意味論 (足立 正治)

ストーリーテリング (長尾 操)

MI 多重知能 (坂田 加奈子)

EQ 感情的知能 (坂田 加奈子)

4 心身とのつながり

ボディ・アウェアネス (片桐 ユズル)

東洋の身体観—認識論として見る日本人の身体観— (岩崎 正春)

野口整体 (本庄 剛)

イメージワーク (手塚 郁恵)

心理療法 (矢幡 洋)

ハコミセラピー (手塚 郁恵)

ホリスティック医学 (黒丸 尊治)

5 創造性とのつながり

芸術教育 (金田 卓也)

芸道 (上野 浩道)

茶道 (黒川 五郎)

アートセラピー (斉藤 典子)

ドラマ教育—ともに生きていることを教える— (浅野 恵美子)

6 いのちとのつながり

ケアリング (中川 吉晴)
治療教育 (川手 鷹彦)
ホリスティックな看護 (守屋 治代)
誕生の教育 (川野 裕子)
死の教育 (鈴木 康明)
内観法 (西山 知洋)

7 スピリチュアリティとのつながり

瞑想 (中川 吉晴・金田 卓也)
教師教育 (中川 吉晴)
人生科教育 (松田 高志)
サイコシンセシス (平松 園枝)
トランスパーソナル心理学—「心の時代」の心理学— (安藤 治)

ホリスティック教育関連資料 120 点紹介

日本ホリスティック教育協会／金田卓也・金香百合・平野慶次編 (2004)
『ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて』せせらぎ出版

(目次)

まえがき (金田 卓也)
序 怒りを伝え、聴きとる対話の回路 (吉田 敦彦)

I 部 内なる暴力を見つめる

内なる暴力を見ずして平和は語れない (今井 重孝)
暴力からみた差別—自分をふりかえることから始めるために— (森 実)
〔Message for Peace〕 平和を創る子どもの力とフォスター・プランの取り組み
(奈良崎 文乃)
いじめや暴力をなくすために私たちにできること (手塚 郁恵)
〔Message for Peace〕 魂の教育—レイチェル・ケスラーの試み— (中川 吉晴)
シャーンティとアヒンサー (金田 卓也・金田 サラソティー)
〔Message for Peace〕 〈静の祈り〉の舞踊 (湖月 美和)
ホリスティックな感情教育 (中川 吉晴)
〔Message for Peace〕 《書評》 和田重正著『自覚と平和』 (松田 高志)
静かな力を見つめる (三国 千秋)
〔Message for Peace〕 手段としての愛 (古山 明男)
ガンディーの非暴力に寄せて (平野 慶次)

日々の暮らしと平和の礎—語ること・黙ること・祈ること— (西平 直)
芸術表現の根源—ピースフルな心と破壊の衝動— (金田 卓也)
つむぎあい…人生の交差点にて (近藤 真紀子)

キッズゲルニカ 平和をテーマにした総合的な学習
世界の平和を願う キッズゲルニカ—国際子ども平和壁画プロジェクト—

II部 平和の文化をきづく

0歳からの平和教育 (金 香百合)
自然の中での平和構築キャンプの夢 (中野 民夫)
平和を育む〈子ども時代〉 (佐藤 雅史)
〔Message for Peace〕 平和のつくり手になろう (池尾 靖志)
平和を描く—キッズゲルニカ—国際子ども平和壁画プロジェクト—
(星野 圭子・伊藤 恵里子・三浦 由紀子)
〔Message for Peace〕 キッズゲルニカ・檜原合宿 (持留 ヨハナ・秋元 香里)
静けさを奏でる—耳をすまして聴くこと— (吉良 創)
平和創造力と arts of peace (鎌田 東二)
〔Message for Peace〕 コスタリカの平和文化教育 (平野 慶次)
自由ヴァルドルフ学校における平和・非暴力への教育 (不二 陽子)
〔Message for Peace〕 聖フランシスコの平和の祈り (鶴田 一郎)
平和の原風景—学校と森のある風景— (竹村 景生)
〔Message for Peace〕 一九九七年七月のカンボジアで (松浦 香恵)
理解しきれないことの価値と多様性—異質なものとの対話— (山本 登志哉)
〔Message for Peace〕 心の平和と『エンデの遺言』 (今井 啓子)
平和の文化とコミュニケーション (浅川 和也)
「平和」ということばのない民族に学ぶ—ウィルタのゲンダーヌとの出会い—
(成田 喜一郎)
〔Message for Peace〕 「教え子を戦場におくるな」 (山浦 恵津子)
平和の文化の創造を目指して—ユネスコ平和の精神を礎に— (岩間 浩)

地球平和公共ネットワーク結成趣意書
国連・ユネスコ関連文書にみる 平和と非暴力への〈ホリスティック・アプローチ〉
(吉田 敦彦)

あとがき (金田 卓也・金 香百合・平野 慶次)

日本ホリスティック教育協会編 (2005)

『ホリスティック教育入門 復刻・増補版』せせらぎ出版

(目次)

第一部 ホリスティック教育とは何か

ホリスティック教育は「いのち」の教育 (手塚 郁恵)

第1章 今、なぜホリスティック教育なのか (手塚 郁恵)

第2章 ホリスティック教育の基本的観点 (吉田 敦彦)

第3章 ホリスティック教育の可能性 (中川 吉晴)

第4章 ホリスティック教育論の現在 (伊藤 隆二)

第二部 ホリスティック教育のグローバルな潮流

ホリスティックは出会いの場 (ピエール・ヴェーユ：前原 早苗 訳)

第5章 カナダで広がるホリスティック教育 (ジョン・ミラー：橋本 恵子 訳)

第6章 ホリスティック教育ビジョン宣言 (GATE)

第7章 ホリスティック教育理論の射程 (吉田 敦彦)

〔増補〕ホリスティック教育のあゆみ

ホリスティック教育年表

季刊 ホリスティック教育 バックナンバー

ホリスティック教育ブックリスト

ホリスティックな教育理念の提唱 (協会設立よびかけ趣意書)

ホリスティック教育と私の出会い

あとがき—ホリスティック教育の現在— (吉田 敦彦)

日本ホリスティック教育協会／吉田敦彦・永田佳之・菊地栄治編 (2006)

『持続可能な教育社会をつくる 環境・開発・スピリチュアリティ』せせらぎ出版

(目次)

序 持続可能な教育社会へのホリスティック・アプローチ (吉田 敦彦)

〔基調〕「^{いまこそ必要な知恵}タイムリー・ウィズダム」を育む—現代教育の最重要課題—

(アーヴィン・ラズロ)

I 持続できない社会 いま、立ち止まって考える

持続可能な教育実践とは—ホールスクール・アプローチを超えて— (永田 佳之)

- [ESD 国際シンポジウムより] 創造の御業は無尽遠のかなたから (佐藤 雅史)
 [column] ありのままでいんだ！—スローダウンへの鍵— (天野 郷子)
 時間を生きる形—いのちをつなぐ、ゆとりの時間の比較社会学— (吉田 敦彦)
 [column] ナマケモノが地球を救う
 —「もうひとつの学び」のための時間をつくろう— (高橋 仁)
 [解説] ESD (持続可能な開発のための教育) とは？ (阿部 治)
 [column] 自然と人と神々と—バリ島の暮らしの知恵— (星野 圭子)

II 持続可能な学び 現場からの声を聴く

- 山のいのちと共生する—タイマグラバあちゃんの知恵— (奥畑 充幸)
 [column] 食・農のあり方から見えてくるもの (守屋 治代)
 「いのち」がはぐくまれる居場所
 —公設民営型フリースペース「たまりば」からの示唆— (西野 博之)
 公立高校がはぐくむタイムリー・ウィズダム—持続可能な松高の試みをつなぐために—
 (易 寿也・檜本 直之)
 [column] NGO 活動とスピリチュアリティ—学校のほうきの柄から— (奥村 知亜子)
 ぼくはボランティア—南の国の子どもたちと共に— (小貫 大輔ほか)
 [column] もうひとつの世界は可能だ！ (平野 慶次)

III 持続可能な教育社会 いのちを深めてつくる

- [視点] ホリスティックな視点から見た内発的發展と教育 (今井 重孝)
 持続可能な教育社会の方へ—新自由主義の教育改革とどう向き合うか— (菊地 栄治)

日本ホリスティック教育協会／今井重孝・佐川通編 (2007)

『学校に森をつくろう！ 子どもと地域と地球をつなぐホリスティック教育』せせらぎ出版

(目次)

- 《口絵》 学校の森のつくり方 (NPO 法人学校の森 HP より)
 はじめに 日本初のホリスティックな教育——森はすべてをつなげてくれる
 (今井 重孝)
- 第1部 学校の森とは
- 第1章 「つながり感」を育てる「学校の森」 (山之内 義一郎)
 [column] 千葉胤成博士の「森のこころ」 (黒田 正典)
- 第2章 「学校の森」実践のホリスティックな意義——近代学校の風景を変える
 (吉田 敦彦)
 [column] 語りえぬものの記憶——原生林保護活動の現場から (木村 理真)
- 第3章 「いのち」を持ち成長する「学校の森」という思想 (山之内 義一郎)
 [column] ある修験の体験から (中川 吉晴)

第4章 教育思想と「学校の森」 (今井 重孝)

[column] ホリスティック教育のモデルとしての森林学習 (岩間 浩)

第2部 それぞれの学校の森

第1章 [幼稚園の森づくり] いのちのつながりに導かれて (嘉成 頼子)

[column] 森の学校——クリシュナムルティのリシヴァリー・スクール
(金田 卓也)

第2章 [小学校の森づくり] 森をつくり森と遊ぶ (山之内 義一郎)

[column] ホリスティック医学と森林療法 (降矢 英成)

第3章 [中学校の森づくり] 教材性の森 (佐川 通)

[column] 韓国の「学校の森」 (宋 珉英)

第4章 [高等学校の森づくり] 森づくりと地球にやさしいエンジニアの育成

(飯尾 美行)

[column] 病院の森
——認知症「檜の森プログラム」実践の場としてのふるさとの森
(川瀬 弓子)

第3部 これからの学校の森

第1章 「学校の森」国際フォーラム in 長岡 (ジョン・ミラー、金 明子、楠原 彰)

第2章 発展する「学校の森」 (小田 孝治・山之内 義一郎)

第3章 未来を開く「学校の森」——子どもと地域と地球をつなぐ (今井 重孝)

《資料》 「学校の森」国内マップ
「学校の森」20年のひろがり
NPO 法人学校の森

おわりに (佐川 通)

日本ホリスティック教育協会／永田佳之・吉田敦彦編 (2008)

『持続可能な教育と文化 深化する環太平洋のESD』せせらぎ出版

(目次)

刊行によせて (佐藤 國雄)

序 ESD (持続可能な開発のための教育) を支えるもの (吉田 敦彦)

I 環太平洋国際会議からのメッセージ

プロローグ 深まりのプロセス ある国際会議の軌跡 (永田 佳之)

- 1 ESD へのホリスティック・アプローチ 文化に根差した未来への回帰
(G・R・ボブ・ティーズデイル)
- 2 存在を深める学び オセアニアから見た ESD への視点 (コナイ・H・ターマン)
[column] ESD 山の登り方 (西田 千寿子)
- 3 四つの知のバランス ナバホのホリスティックな世界観 (ハーバート・ベナリー)
- 4 リンヴァリー・スクールにおける持続可能な社会に向けての教育実践
(ヴィジェンドラ・C・ラモラ)
- 5 ヒューマニタリアン・スクールにおける伝統的なホリスティック教育
(ヴァシリー・V・セメンツォフ)
[column] シュタイナー学校とユネスコとの出会い (ジョン・F・ウィッソン)
- 6 マオリ文化の叡智に学ぶ そのシュタイナー教育との接点 (ヘザー・D・ペリ)
- 7 ブータンの国民総幸福 (GNH) 経済成長と開発を問い直す (カルマ・ジュルミ)
- 8 日本発のホリスティック教育「学校の森」 ESD への新しいアプローチ (今井 重孝)
- 9 山古志村と学校の森をたずねて スタディービジットで学んだこと (野口 扶弥子)
[column] 曼荼羅のかなたへ (永田 佳之)

II ESD へのホリスティック・アプローチ

- [column] いのちとシステム (柴尾 智子)
- 1 環境教育の現状 理論と実践をつなぐ (小澤 紀美子)
 - 2 ESD にとっての文化と地域 開発教育の視点から (山西 優二)
 - 3 環境倫理におけるホリスティックな視点と ESD (鬼頭 秀一)
[column] ESD-J の目指すこと (浅川 和也)
 - 4 ESD の共通基礎 「参加型」で行こう! (中野 民夫)
[column] ESD とシュタイナー教育 日本のシュタイナー学校の事例から (佐藤 雅史)
 - 5 「聴くこと」を通じた学びとホリスティック教育 国際シンポジウムでの歌を体験して
(横田 和子)
[column] 中学校のすべての教科で取り組んだ ESD (竹村 景生)
 - 6 実効性ある ESD を実現するために 生態系と文化の視点から (飯島 眞)
[column] ユネスコ協同学校の実践と ESD へのホリスティック・アプローチ
(伊井 直比呂)
 - 7 ユネスコ・ESD にとっての「文化」の意義 (河野 真徳・座波 圭美)

結 ESD への「子ども」と「文化」の視点 「ホリスティック ESD 宣言」解説
(吉田 敦彦)

《巻末資料》 ホリスティック ESD 宣言 (2007, Tokyo-Hiroo)
「アーメダバード宣言」の誕生 「ホリスティック」な教育観への転換
アーメダバード宣言 (2007, Ahmedabad) 行動への呼びかけ

あとがき (永田 佳之)

日本ホリスティック教育協会／吉田敦彦・守屋治代・平野慶次編（2009）

『ホリスティック・ケア 新たなつながりの中の看護・福祉・教育』せせらぎ出版

（目次）

はじめに （守屋 治代・吉田 敦彦）

I部 他者とのつながり ―ケアリング関係―

看護のなかのケアリング 看護者を病床へとむかわせるもの （守屋 治代）

弱さの交差点で 「それでもなお意味がある」 （グエンティ・ホンハウ）

他者と出会うということ 看護学生の臨床経験を通して （前川 幸子）

ホリスティックな緩和ケア 一人ひとりの心地よさに応えて （黒丸 尊治）

[column] ケアの心に満ちたコミュニケーション 真の「以心伝心」とは （天野 郷子）

[column] 受験期における子どものケアと親の成長 （神尾 学）

[column] 「ケア」のかたち 障がいを持つ方の生活支援の場で （飯塚 純子）

鷲田清一×伊勢真一【対談】 できなさ・弱さがつなぐもの （鷲田 清一・伊勢 真一）

[column] 〈ドキュメンタリー監督の眼から〉 やわらかな眼差し （伊勢 真一）

II部 社会とのつながり ―ケアの^{ホーリネス}全体性―

ケアと持続可能な福祉社会 新たなつながりの原理を求めて （広井 良典）

マタニティからのいのちを育むケア 子育てサポートのつながりづくりの実践 （植田 佳世）

保育におけるホリスティックなつながり （金田 卓也・野見山 直子・増井 景子）

ケアする人に必要なケア バーンアウトを越えて （金 香百合）

[column] いのちの誕生と助産ケア （佐野 裕子）

[column] 九人家族の歩みから （平野 慶次）

世界の癒しに向けたケアリング 宇宙中心ソーシャルワークの観点から （エドワード・カンダ）

III部 自己とのつながり ―ケアの^{ホーリネス}聖性―

魂のケア （中川 吉晴）

スピリチュアルケアと「我執性」 自我への執着から離れようとする事 （西平 直）

悲しみとケア つながりの自覚から （ジョン・P・ミラー）

[column] ケアリングとしてのタッチ 臨床看護の現場より （青木 芳恵）

[column] シュタイナーの治療教育を学びながら （奥村 知亜子）

[column] いのちのはたらきのケア リコミ・ワークの実際 （手塚 郁恵）

結 ホリスティック・ケアの未来へ

ケアの三つの位相とその補完関係 〈ひとり〉と〈みんな〉の間の〈ふたり〉 （吉田 敦彦）

おわりに （吉田 敦彦・守屋 治代・平野 慶次）

日本ホリスティック教育協会／今井重孝・金田卓也・金香百合編（2011）
『ホリスティックに生きる 目に見えるものと見えないもの』せせらぎ出版

（目次）

はじめに ホリスティックに生きる——目に見えるものと見えないもの
（今井 重孝・金田 卓也）

1章 生まれ、産み、呼吸し、育つ

生まれる、生む 到来するいのちが問いかけてくること （守屋 治代）
産む 体が体を越える （野沢 綾子）
呼吸する 存在の神秘へ （中川 吉晴）
育てる テリトリーを作り直す （児玉 真由美）

2章 食べ、料理し、笑い、泣く

食べる 食べたもので私はできている （金 香百合）
料理する ホリスティック・クッキング （平野 慶次）
笑う つながりあう笑い （西田 千寿子）
泣く 感動によるカタルシス （今井 重孝）

3章 動き、真似し、遊び、働く

動く 古くて新しい舞踊の始原へ （秦 理絵子）
真似る 世阿弥の伝書から （西平 直）
遊ぶ 遊ぶように働き、学ぶ （西村 拓生）
働く 「働く喜び」の再発見 （上野 あや）

4章 語り、歌い、読み、祈る

語る その声と言葉の秘密 （吉田 敦彦）
歌う 「うた」は誰にでもあり、来る （成田 喜一郎）
読む 本と歩く （山浦 恵津子）
祈る 目に見えないものとのコミュニケーション （今井 重孝）

5章 作り、磨き、描き、書く

作る 見えるものと見えないものをつなぐ「作る」という行為 （金田 卓也）
磨く 磨くことで磨かれるものとは （遠藤 信也）
描く 小学校の教室の中で （滝川 弘人）
書く 「かく」という営みの意味を考える （成田 喜一郎）

6章 愛し、看て、悩み、信じる

愛する 家族からの出発 （平野 慶次）
看る 自分を生かし相手を生かす （青木 芳恵）

悩む 人生は「悩むこと」の連続 (若林 新平)
信じる 「目に見える」現実世界と「目に見えない」スピリチュアルな世界を結びつける
(モハン/ミーナ)

7章 眠り、老い、願い、死ぬ

眠る 眠りの質を高めよう (今井 重孝)
老いる いただいて、今を生きる (佐川 通)
願う 心の平安と相互理解を求めて (小林 せつこ)
死ぬ 器からの解放 (瀧口 文子)

おわりに (金田 卓也・金香百合)

日本ホリスティック教育協会／金香百合・西田千寿子・友村さおり編 (2010)
『つながりのちから ホリスティックことはじめ』せせらぎ出版
(別冊：ホリスティック教育ライブラリー)

(目次)

はじめに

Step 1 つながりっておもしろい！ あなたもすでにホリスティック？

自分とのつながり
人とのつながり
自然とのつながり
宇宙とのつながり

Step 2 明日がかわるステキなことば ホリスティックを考えるキーワード

つながり
バランス
かかわり
リズム
タイミング

Step 3 子どももおとなも元気になあれ！ ホリスティックな教育って？

子どもがもっている力
どんなかかわり方してる？
いつも大切にしたいこと

Step 4 広がれ つながれ いのちの力 もっと、ずっと、ホリスティック

ものの見方を変えてみると

暮らしの中のホリスティック

社会ではじまっている、さまざまな広がり

Q&A

おわりに

《資料編》ホリスティック教育理念（要約）

ホリスティック ESD 宣言

ホリスティック教育ライブラリー紹介

日本ホリスティック教育協会のご案内

おまけ 暮らしを楽しむ 20 のヒント

日本ホリスティック教育協会／成田喜一郎・西田千寿子編（2013）

『「いじめ」を超える実践を求めて ホリスティックなアプローチの可能性』
せせらぎ出版（ホリスティック教育叢書）

（目次）

はじめに （成田 喜一郎・西田 千寿子）

第1章 「いじめ」を超えるためのホリスティックなアプローチ 小・中学校の実践

子どもたちの瞳輝く教室—ホリスティックな学級づくりを目指して— （西田 千寿子）

「いじめ」につながりかかわる中学生との対話—その実際と背景を読み解く—

（成田 喜一郎）

学校図書館は「いじめ」を超えるか—物語のもつ力を学校図書館がどう伝えているか—

（中山 美由紀）

第2章 喜びは「いじめ」を超えるか ホリスティックなアプローチの理論と方法

いじめを問題にする発想法の転換—問題排除型から喜び創出型へ— （吉田 敦彦）

独りになること、師となる存在に出会うこと （中川 吉晴）

第3章 教師のライフヒストリーの中の「いじめ」 ホリスティックなアプローチへの道

（成田 喜一郎）

おわりに （西田 千寿子・成田 喜一郎）

日本ホリスティック教育協会編／河野桃子・福若真人編著（2017）

『対話がつむぐホリスティックな教育—変容をもたらす多様な実践—』創成社

（目次）

はじめに

序章 「教育者の自己変容」／「変容を促す教育」を問い直す

～日本の「ホリスティックな教師たち」との対話～

1. 本書の問い——教育者や教育の変容はいかにして生じるのか？
2. 実践者の「語り」を「対話」を介して記述すること
3. 本書の構成

第1章 里山保育ひなたぼっこの実践～シュタイナー教育の思想を手がかりに～

里山保育ひなたぼっことは

インタビューの目的

インタビュー 神澤真江（里山保育ひなたぼっこ代表）×木戸啓絵×河野桃子

インタビューをふりかえって

第2章 「創作叙事詩・解題」の実践～生徒の内面を引き出すこれからの学習方法～

「創作叙事詩・解題」の実践とは

インタビューの目的

インタビュー 成田喜一郎（東京学芸大学）×津山直樹

インタビューをふりかえって

第3章 自由学園の実践～〈みんな〉の中で一人ひとりが大切にされる教育とは～

自由学園とは

インタビューの目的

インタビュー 高橋和也（自由学園学園長）×曾我幸代

インタビューをふりかえって

おわりに